学校番号	T3016

令和８年度　学総合科

教科	学総合	科目	産業社会と人間	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・電気科の実習、機械科の実習、パソコンの講座など様々な体験的・実践的な活動を行う。
・この授業を通じて、自分をみつめ自分の特性を発見し、将来の職業を考えられるような活動を行います。
・資料を深く理解し、現在の産業社会における自己のあり方、生き方について考えさせる。

2　学習の到達目標

①、集団の一員としての自覚を持ち、マナーや常識を身につけさせる。
②、現在の産業社会の正確な理解とそこに根付いた職業観、勤労感の育成
③、自己の在り方、生き方を考える姿勢を身につけさせ、自己の将来像を考えさせる。
④、職業について考えさせ、望ましい職業観・勤労観の育成をはかり、進路意識を高めさせる。
⑤、自分の考えを持ち、それを正しく表現する力を身につけさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	働くことの意義、進学の目的について理解し、高校での学習の大切さを理解している。	健全な職業観を持ち、職業を通じ社会に貢献することの必要性を理解している。	産業社会に関心を持ち、意欲的に問題に取り組んでいる。真面目な態度で授業を臨むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	産業社会の現状	・オリエンテーション ・新聞等から産業社会の現状を読み、正確に把握させその理解に必要な演習講義。 ・電気について	a:総合学科で学ぶ意義を考え「産業社会と人間」の学習について考察することができる。 b:地元産業の現状について理解する。 c:SDGs など社会問題に関心を持ち、問題解決を考察することができる。	確認テスト ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	観察 実習の作品 レポート
	産業社会と職業	・自己理解 ・様々な職業に関する資料をインターネットなどで収集させ、産業社会と職業のかかわりについて考察する。 ・パソコンについて	a:的確な資料を収集できたか、職業について理解を深めたか。 b:進路ノートを利用し、自分の過去、現在の興味、関心を探り、自分の特性を重ね合わせて進路探しを始める。 c:自分の興味関心がどのような学問や実習につながっているのかを知り視野を広げる。	確認テスト ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	実習の作品 レポート 観察
後期	産業社会と技術力	・職業講和 ・日本の産業を支えている工業技術力について、基本的な事柄を理解させると共に、実習を体験しながら考察を加えていく。 ・機械について	a:工業関係の用具の使い方を理解したか。実習を通して、ものづくりの大切さを理解したか。 b:職業について考え、働くことへの意識を高める。 c:実習の作品を正確に制作しようとしている。	確認テスト ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	実習の作品 レポート 観察

後期	産業社会と私たち	・ライフプラン ・これまでの学習を通して、自らが職業人として産業社会にどのように根付くか、考察する。 ・科目選択について	a: 産業社会に根付く考査ができたか。正しい職業観が育成できたか。 b:「私のライフプラン」をまとめ、自己の今後の在り方・生き方について考える。 c:次年次以降の科目選択を行う。	確認テスト ワークシート	ワークシート 実習の作品 レポート	実習の作品 レポート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度